

# 令和元年度 福島県女性団体連絡協議会学習会

参加者 国際女性教育振興会

山崎捷子

高橋節子

日時 令和元年9月11日 10:00～12:00

会場 福島大学 M-24教室

参加者 30名

タイトル 福島大学食農学類における「食べる人をつくる人を」幸せにする取り組み

## (1) 学類概要説明

農学類長 生源寺 眞一氏

入学定員 100名 大学の役割は教育・研究・社会貢献の3つである。

地域社会貢献枠や実践教育経験枠などユニークな枠がある。

## (2) 「自然の仕組みを農林業に生かす」 教授 金子信博氏

生産環境学：持続可能な農林業生産の基礎を学ぶ。

森林の放射性セシウムの動態に関する本出版。

耕さない農業。個性を生かす農学：農地ごとの農作物の違いなど。

## (3) 「果物と健康の科学」 准教授 升本早枝子氏

農産物の生産から食卓まで (生産者—加工業者—消費者)

食品の研究 付加価値 UP、国内自給率 UP を目指す。

- ・生産：栽培方法 病害虫
- ・流通加工：保存法や加工法
- ・消費：安全性

### 果物と健康の科学

- ・食品機能：1次機能～栄養素の働き (食物繊維・ビタミン)
- 2次機能～嗜好成分 (色・香・味)
- 3次機能～生理機能成分の働き (ポリフェノール・色・好み・カロテノイド)

・食品の安全性は造られる：安心は心の問題なので作られない。

腸内細菌と果物 (約 1000 種ある)：悪玉 10、善玉 20、日和見 70

腸は第2の脳と言われている。脳腸相愛：ホルモン・自律神経は脳を介する。

同じ腸内フローラを持つ人間はほかに存在しない。

腸内フローラ：りんご (体重減)、果物は1日 200 グラム

ブルーベリー、葡萄、レーズン、リンゴ、西洋梨 (週3回以上食べると糖尿病に効果)

葡萄、りんご、桃、プラム：善玉菌増加、短鎖脂肪酸増加

※アルツハイマー、うつ、自閉症、肌荒れ、糖尿、肥満、大腸がんなどに効果あり。

：福島大学に農学類ができ、農業県福島としていろいろな可能性があるという大変興味深い講演でした。

参加者は健康な方が多かったせいか、(3)「果物と健康の科学」で肌荒れや肥満の話では皆さん興味があったようだ。試験農地を見る予定であったが、雨のために中止となった。

# 令和元年度「福島県女性団体連絡協議会学習会」への参加事業報告

## 収支決算書

令和元年9月11日 場所: 福島大学

### 収入の部

項目	決算額	備考
自己負担金	4,240	
会津若松市補助金	4,200	※2人分 ※対象経費の1/2(上限ひとり5000円)
合計	8,440	

### 支出の部

項目	決算額	備考
交通費(往復)		※神明通り～会津若松駅～郡山駅～金谷川駅
市内循環バス乗車券	680	@170円×2名×往復
JR乗車券	7,760	@1,940円×2名×往復
	8,440	